

那覇国際高等学校

学校だより 第21号



1年生新聞審査結果発表

最優秀賞 備間そよ菜さん

支那外調査新聞

支那の歴史

支那の文化

支那の地理

支那の政治

支那の経済

支那の社会

支那の教育

支那の科学

支那の芸術

支那の宗教

支那の言語

支那の民族

支那の歴史

支那の文化

支那の地理

支那の政治

支那の経済

支那の社会

支那の教育

支那の科学

支那の芸術

支那の宗教

支那の言語

支那の民族

優秀賞 喜納一翔さん

SHURIJO CASTLE

首里城の宝物

首里城の歴史

首里城の文化

首里城の地理

首里城の政治

首里城の経済

首里城の社会

首里城の教育

首里城の科学

首里城の芸術

首里城の宗教

首里城の言語

首里城の民族

優秀賞 内間ひかりさん

5世紀の歴史

5世紀の文化

5世紀の地理

5世紀の政治

5世紀の経済

5世紀の社会

5世紀の教育

5世紀の科学

5世紀の芸術

5世紀の宗教

5世紀の言語

5世紀の民族

優秀賞 東恩納沙奈さん

世界遺産 首里城

首里城の歴史

首里城の文化

首里城の地理

首里城の政治

首里城の経済

首里城の社会

首里城の教育

首里城の科学

首里城の芸術

首里城の宗教

首里城の言語

首里城の民族

1年生 文系フィールド・ワーク「新聞」審査結果

最優秀賞(金賞) 備間そよ菜さん(1組) 優秀賞(銀賞) 喜納一翔さん(9組)

優秀賞(銅賞) 内間ひかりさん(4組) 優秀賞(銅賞) 東恩納沙奈さん(9組)



SDGs QUESTみらい甲子園 沖縄県大会「大同火災賞」受賞!



「大同火災賞」授賞式にて



ワークショップでの活動の様子

「SDGs QUESTみらい甲子園沖縄県大会」が2月17日、琉球新報ホールにて実施され、本校生徒たちがファイナルセレモニーまで残り、大会スポンサーである「大同火災賞」を受賞しました。副賞として「まちなか留学」もいただきました。

書き初め展 最優秀賞!

第62回 全沖縄児童生徒 書き初め展

最優秀賞 比嘉一朴(1年9組)

金賞 14名(1年生9名 2年生5名)

銀賞 40名

(1年生28名 2年生10名 3年生2名)

学校茶道連絡協議会 創立50周年記念式典



式典にてスピーチを行った久保田紀奈乃さん(2-3)

沖縄学校茶道連絡協議会の創立50周年記念式典が2月10日、那覇市内にて開催され、式典と合わせて行われた呈茶席にて、本校茶道部7名が活躍しました。また、式典にて加盟65校を代表して、2年3組の久保田紀奈乃さんがスピーチを行いました。

今後の行事予定

- 2月 29日(木) 卒業式予行演習
- 3月 1日(金) 第24回卒業式
- 5日(火) 高校入試会場設営(4校時)
- 6日(水) 県立高校入学者選抜学力検査① 1・2年生 自宅学習(~12日)
- 7日(木) 県立高校入学者選抜学力検査②
- 8日(金) 入試事務(~12日)
- 14日(木) 県立学校一般入学合格発表 ボキャブラリーコンテスト(5校時) 合格体験発表会(6・7校時)
- 15日(金) 学校PTAまたは三者面談(午後)
- 16日(土) 全国高1・高2共通テスト模試(希)

那覇支部 クラス別学校対抗 球技大会 1年5組 準優勝!



那覇支部球技大会で準優勝した1年5組の皆さん

高体連主催「那覇支部クラス別学校対抗球技大会(バレーボール)」が2月3日に実施され、本校1年5組女子が見事、大会準優勝となりました。

1年生 PTA 美化作業!



美化作業に参加した皆さんでハイポーズ!

PTA環境保健部主催による1学年の保護者・生徒を対象とした校内美化作業が2月24日に実施されました。今回は女子ハンド部の皆さんも参加し、卒業式を前に校内が大変キレイになりました。



SDGs パスポート活動報告会



ボランティア部 発表の様子



表彰を受ける 城間日万梨さん

「SDGsパスポート活動報告会」が2月23日、県立博物館・美術館にて実施され、本校ボランティア部の金城陽香莉さん(2-8)と大城美羽さん(2-2)が活動報告を行いました。また、城間日万梨さん(3-4)がSDGsパスポート30ポラン達成者として表彰されました。

名言・名句

Life is like riding a bicycle.
To keep your balance,
you must keep moving.

人生は自転車のようなものだ。
倒れないためには、
進み続けなければならない。

【解説】

これはドイツ生まれの理論物理学者で、特殊相対性理論および一般相対性理論などを提唱したアルベルト・アインシュタインの言葉である。彼はこれまでの物理学の認識を根本から変え、「20世紀最高の物理学者」とも称され、量子仮説に基づく光電効果の理論説明によって1921年にノーベル物理学賞を受賞しました。



合格体験記 (早稲田大学 文化構想学部 文化構想学科)

(1)この大学を選んだ理由

早稲田大学では、エンターテインメントをより深く理解し、創造的なアイデアを生み出す上で重要になる表象学を大学のうちから学ぶことができます。大学の「自主独立の精神」に共感し、自主性を持って問題に取り組む中で新しいアイデアを追求し、将来考える社会貢献に向けての学びを深められる大学であると感じたからです。

(2)高校在学中の勉強方法について

私は部活に所属していたので放課後の時間にあまり勉強時間が確保できなかった分、普段の授業や休み時間、家に帰ってからの時間に勉強するようにしていました。学校から出される課題が多く、誤答レポートなどを提出し終わったらすぐに次の定期テストがやってくることもあったので、常にスケジュール管理をし、同時にto doリストを作成して自分がやるべきことを明確にっていました。休み時間や授業の中で好きに使える時間ができたら、それらの時間を活用して早めに課題を終わらせ、定期テストの対策も早いときは1か月ほど前から勉強計画を立てて少しずつ勉強するよう意識しました。

(3)高校在学中の勉強以外の生活について

私が高校生活の中で心がけていたことは「どんなことにも挑戦する」ということです。勉強面でも、勉強以外の活動でも様々なことに挑戦することで、最終的に結果はどうであれ、毎回とても大きな学びを得られたと思います。挑戦することを恐れずに新たなことに一步一步踏み出すことこそが、自分の選択を最善のものにするために必要なことだと感じています。

(4)後輩へのアドバイス

私はもともと総合型選抜での大学受験を考えていたのですが、その中で自分のことを知るための「自己分析」がとても大切だと感じました。自分は何が好きなこと、どんなことに興味があるのか、というのは案外言語化するのが難しいです。自分の行動パターンや過去の経験から自分自身を知ること、大学選びや学部選びの際にも「なんとなく」で選ぶことがなくなります。私も自己分析をしてからは大学や学部への考え方が変わり、始めに考えていた学部とは全く違う学部を選びました。この経験から私は、自分のやりたいこと、興味のあることが明確になっていると、大学生活やその後の就職活動でも、何事にも目標をもって取り組むことができるので充実した日々を過ごすことができると感じています。今の自分の頑張りがきっと将来の自分の助けになります! どんなことにも全力で挑戦してください! 応援しています!

本校24期生(現3年生) 女性